

戦略的カリキュラム

インプットとアウトプットの
バランスの良さがTACの
カリキュラムのポイントです

INPUT(講義)

本試験合格のための知識
を習得するため、基本がしっ
かりと身に付くような「理
解を促す授業」を心掛けて
います。ムリ・ムダを省き、
効率的に知識を吸収する
ことが出来ます。

OUTPUT(答練)

講義で修得した知識を的
確に答案に反映すること
ができるよう、実際に問題
に取り組むのが答練(答案
練習)です。苦手分野の分
析が、試験に強い体質づく
りにつながります。

オリエンテーション講義を実施！

TACでは皆様に安心して不動産鑑定士試験にチャレンジしていただけるよう、オリエンテーション講義を実施しています。この講義では試験の攻略法や、TACの講義・答練の受講方法、学習方法のポイントなどを解説するほか、不動産鑑定士試験の最重要科目である鑑定理論の考え方などについての講義を行います。



基礎期

本試験合格に必要なレベルの知識を学習する、最も重要な期間です。この基礎期では初学者の方でも戸惑うことなくスムーズに学習できるよう、まず合格に必要な知識を網羅し、しかも講義の回数は最低限にとどめるように配慮されています。合格に必要な知識を基礎から理解することと、答案作成の基礎を学ぶことがこの時期の大きな目的です。この学習内容の理解が、合格に直結する直前期へとつながります。したがってこの時期の充実が合格へのカギとなります。

基本講義

戦略的カリキュラムの中核を担うのがこの「基本講義」です。本試験突破に必要な知識を体系的かつ効率的に修得します。まずは「理解」することに重点を置いて、講義に臨んで下さい。



短答式対策

基本講義・法改正点講義 (行政法規)

短答式試験科目である行政法規の知識は、この講義で完全にマスターしていきます。行政法規に強いTACでは、複雑になりがちな情報をしっかりと整理して学習することが可能です。
鑑定理論につきましては、基本講義の中で短答式試験に必要な知識をインプットします。

短答式直前期

短答本試験に備え、鑑定理論と行政法規の「短答答練」を行います。限られた時間で、正しい選択肢を導き出し解答していきます。また、過去問題集や択一問題集を利用して、多くの問題を解いて、知識を深めることも必要です。そして、全国の受験生が一斉に集う「短答式全日本答練」では、目標を上位に定めチャレンジしていきましょう。

短答式対策も TACなら 万全です



論文式対策

演習講義

ご存知の通り、2006年度不動産鑑定士試験からは、新たな科目「鑑定理論演習」が加わります。演習問題に臨むにあたって必要とされる、各種資料の整理、価格形成要因の分析、計算価格の計算、試算価格の調整および鑑定評価額の決定方法について、例題を交えながら解説していきます。

総まとめ講義

重要な基本論点を厳選した問題・解答形式のテキストを使用して、重要事項の総復習を行っていきます。この講義で知識の整理を行い、どんな出題にも対応できる真の実力を養成します。

直前的中講義

本試験に向けて、直前の最終チェックを行います。試験の出題予想も含めた講義で、合格可能性を一気に引き上げます。この講義で本番に向けて万全の態勢を整えてください。

直前答練

本試験での出題可能性の高い良問で、論文式試験の解答作成力を磨きます。答練後の解説では答案作成の上でのチェックポイントも説明。より得点を取れる答案作成法を伝授します。

直前答練・全答練でも
しっかりと演習の
アウトプットを行います。

論文式全日本答練

全国の不動産鑑定士試験受験生が注目する、最大規模の公開模擬試験です。受験者数、雰囲気と、どれをとっても本試験に非常に近いだけでなく、高い合否判定の精度も、TACならではの、合格を確実なものにしてください。

アクセスコース(オプションコース)

アウトプットに最適！基礎知識の定着を目的とした、アウトプット・トレーニングのためのオプションコースが、アクセスコースです。修得した知識を答案に確実に反映する能力を身につけることが出来ます。各本科生との同時受講をおすすめします。

2007年合格目標のアクセスコースは、2006年9月～2007年1月頃にかけての順次開講を予定しております。日程・受講料等につきましては後日発表いたします。

アクセスコースはオプション講座です。そのための別途お申込みが必要となります。

カリキュラムの内容につきましては、試験制度の動向により変更させていただく場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

論文式試験
合格